

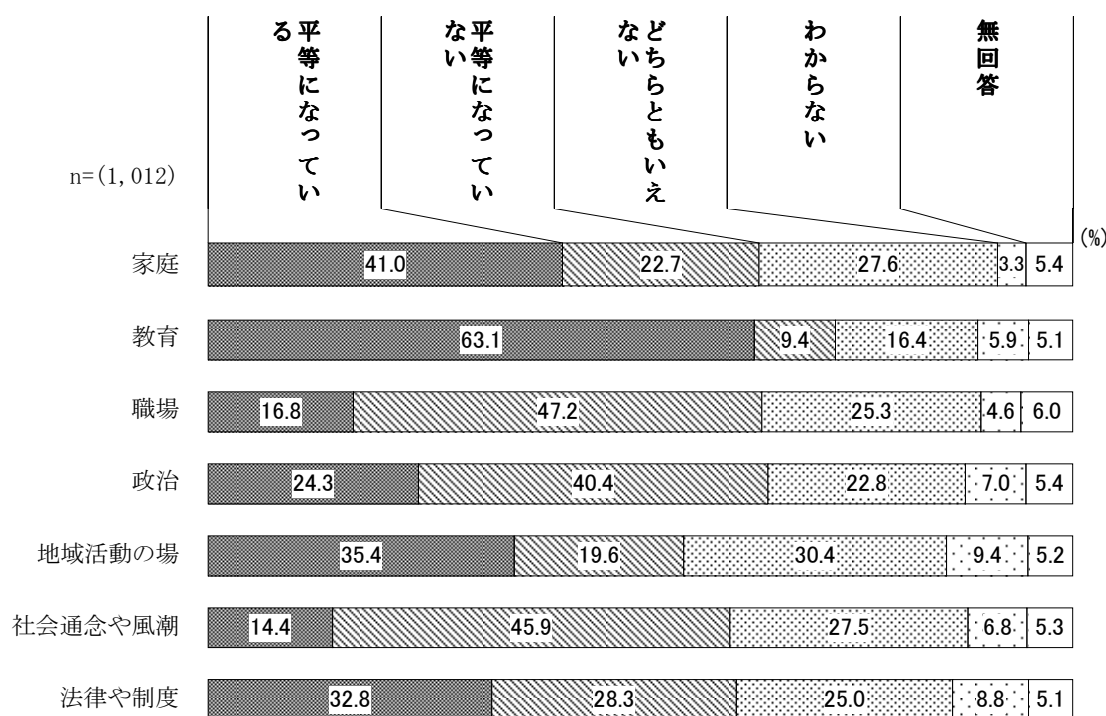
第IV章 調査の結果

1. 男女平等に関する意識

(1) 男女の地位の平等感

問1 次にあげる7つの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
 (それぞれについて該当する「1~4」に○を1つ)

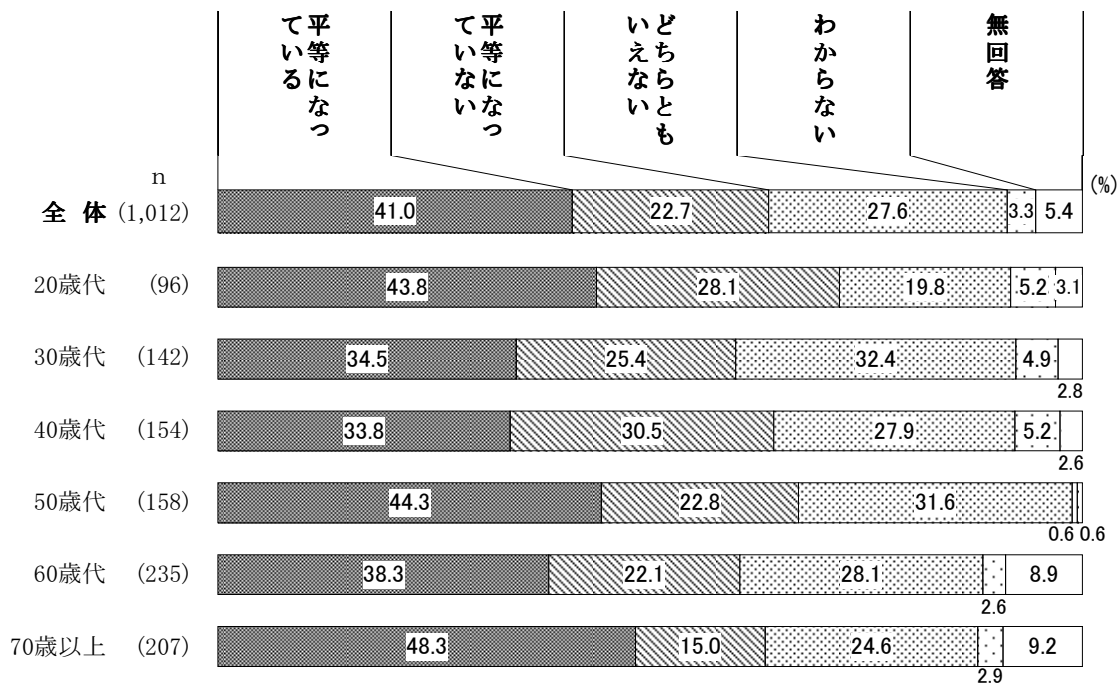
図表1-1 男女の地位の平等感 (全体)



男女の平等感について、「平等になっている」の高い順でみると、【教育】が63.1%で最も高く、以下【家庭】(41.0%)、【地域活動の場】(35.4%)、【法律や制度】(32.8%)の順が続いている。(図表1-1)

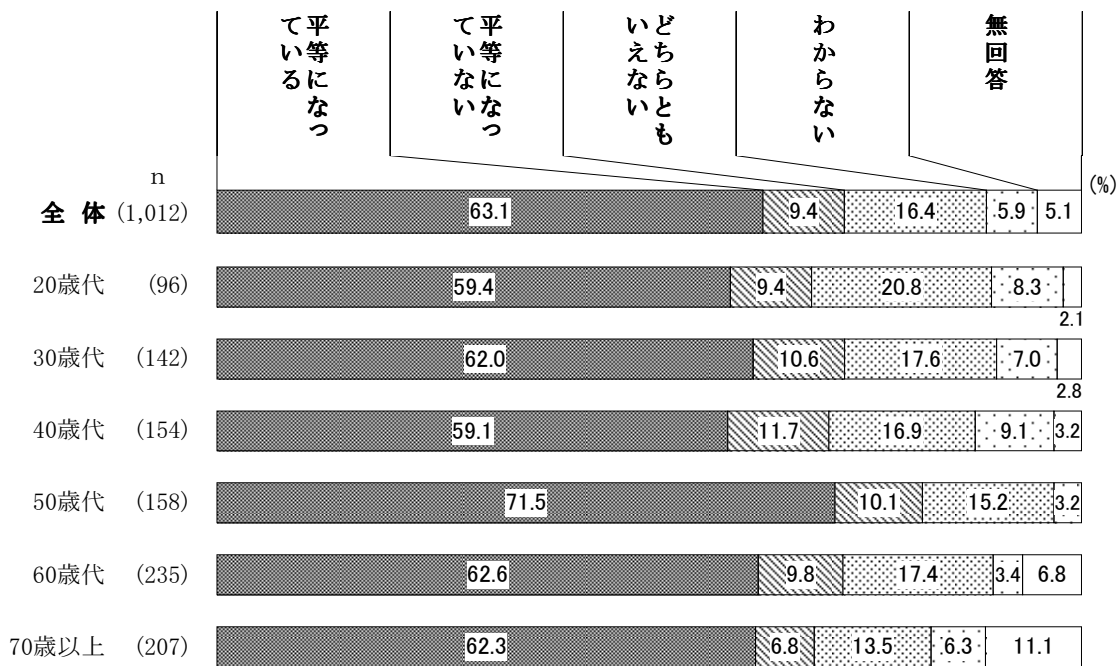
年齢別でみると、【家庭】については、20歳代、50歳代、70歳以上で「平等になっている」が、いずれの年代でも4割を超えて、他の年代より高くなっている。(図表1-2)

図表1-2 男女の地位の平等感—家庭（年齢別）



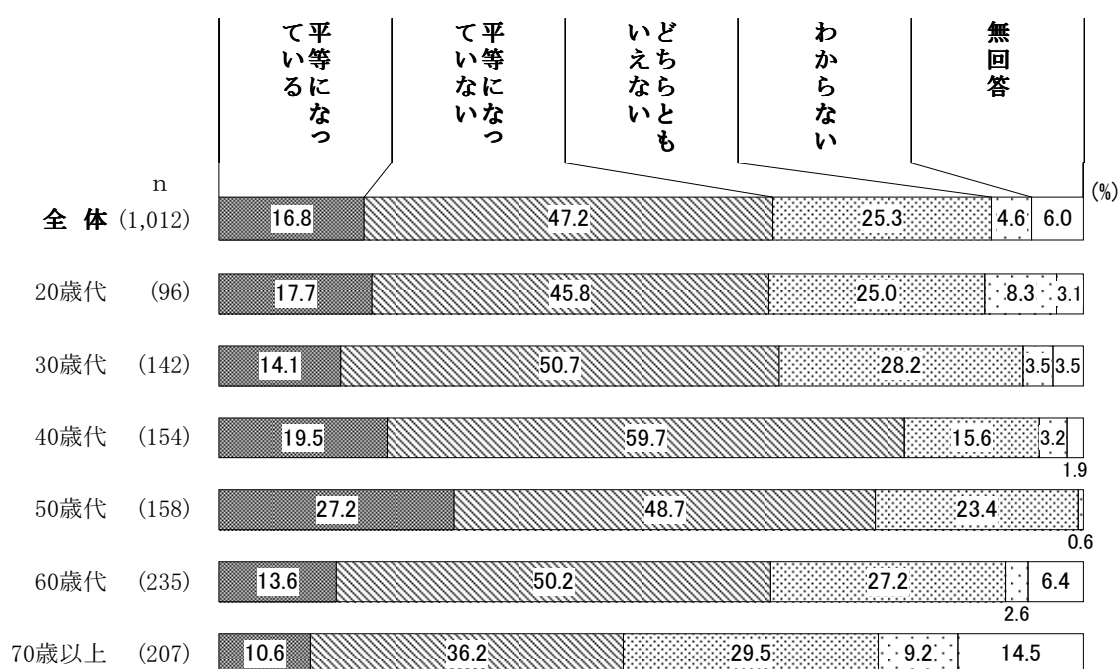
【教育】については、50歳代で「平等になっている」が71.5%と、全年代中最も高くなっている。(図表1-3)

図表1-3 男女の地位の平等感—教育（年齢別）



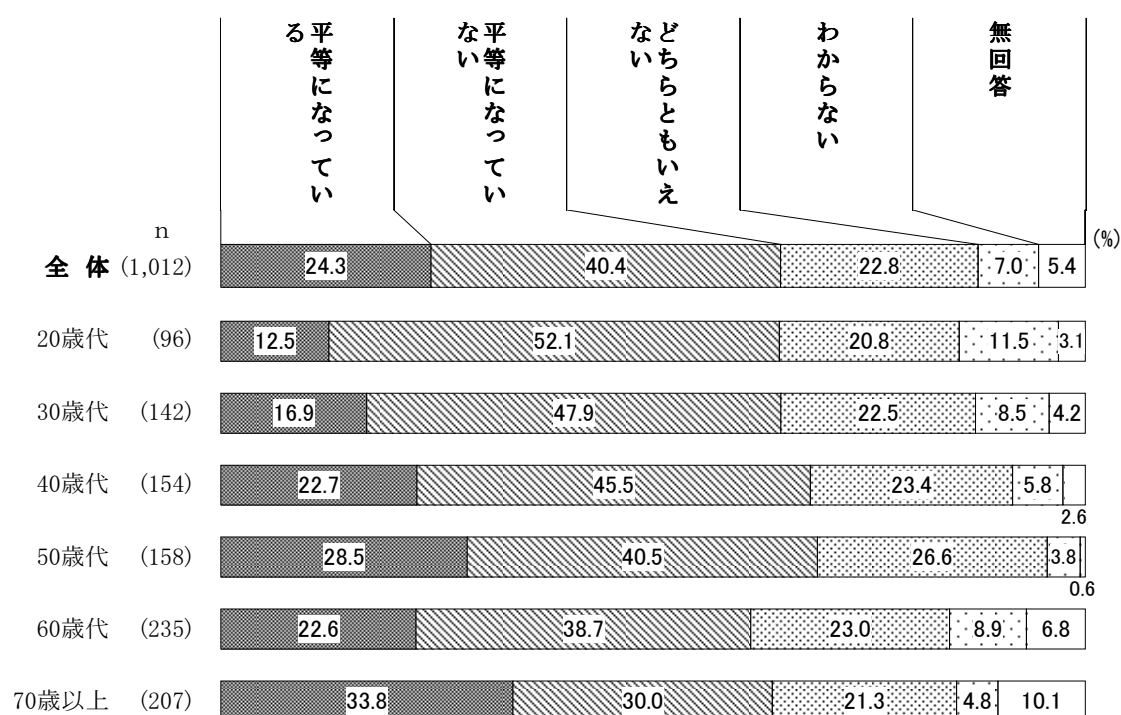
【職場】については、40歳代で「平等になっていない」が59.7%と、他の年代より高くなっている。(図表1-4)

図表1-4 男女の地位の平等感—職場（年齢別）



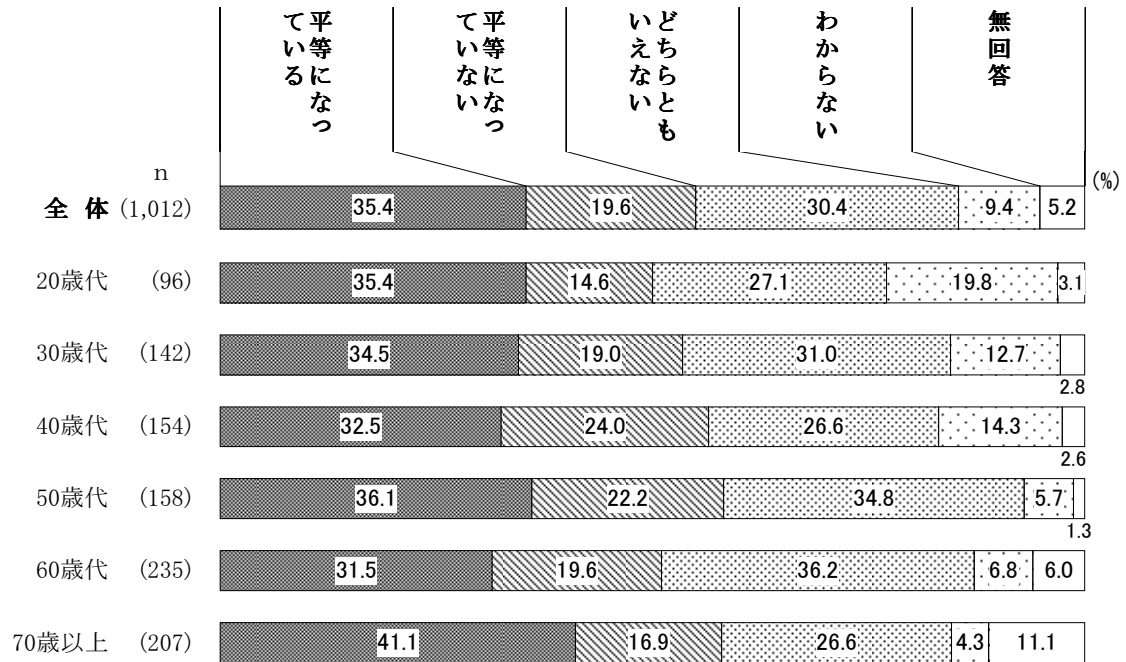
【政治】については、20歳代で「平等になってない」が52.1%を占めているほか、30歳代、40歳代でも4割台半ばを超えて、他の年代より高くなっている。(図表1-5)

図表1-5 男女の地位の平等感—政治（年齢別）



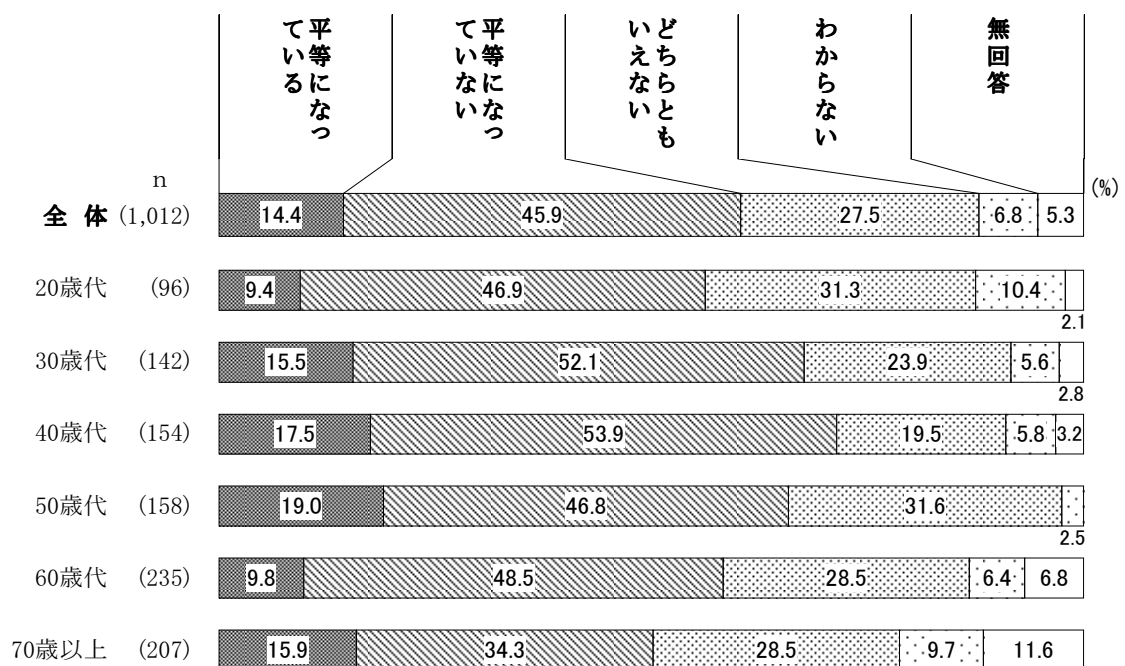
【地域活動の場】については、70歳以上で「平等になっている」が41.1%と高くなっている。
 (図表1-6)

図表1-6 男女の地位の平等感—地域活動の場（年齢別）



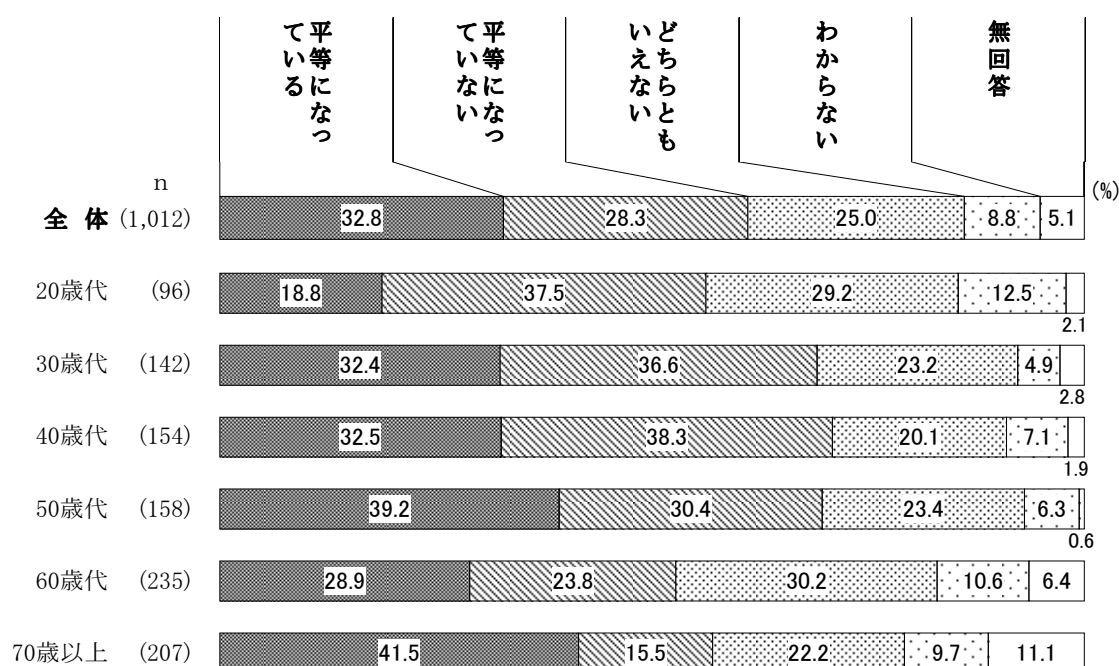
【社会通念や風潮】については、30歳代、40歳代で「平等になっていない」が、それぞれ52.1%、53.9%と高くなっている。(図表1-7)

図表1-7 男女の地位の平等感—社会通念や風潮（年齢別）



【法律や制度】については、50歳代、70歳以上で「平等になっている」が4割前後を占め、他の年代より高くなっている。(図表1-8)

図表1-8 男女の地位の平等感—法律や制度 (年齢別)



居住地域別にみると、【家庭】で「平等になっている」は多くの地域で4割以上となっているが、県央地域、南西部地域、東部地域では3割台となっている。

【地域活動の場】で「平等になっている」は東部地域、北部地域で4割前後となっている。また、川越比企地域では「平等になっている」と「平等になっていない」がほぼ二分している。

【社会通念や風潮】で「平等になっている」はいずれも少なく、「平等になっていない」がいずれも上回っている。「平等になっていない」はさいたま地域、南西部地域、南部地域で5割前後と高い。(図表1-9)

図表 1-9 男女の地位の平等感（居住地域別）

(%)

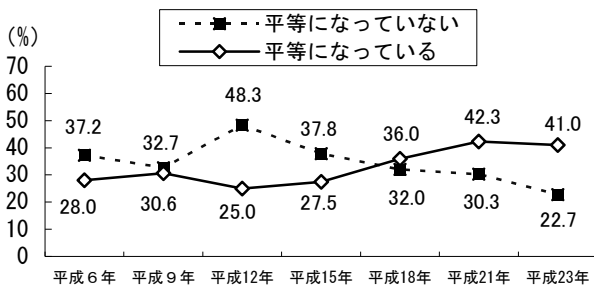
		n	平等 になっている	平等 になっていない	どちら ともいえない	わから ない	無回 答
□家庭	全 体	1,012	41.0	22.7	27.6	3.3	5.4
	南部地域	98	40.8	28.6	21.4	2.0	7.1
	南西部地域	90	34.4	23.3	31.1	4.4	6.7
	東部地域	156	37.8	23.7	30.8	3.2	4.5
	さいたま地域	168	42.9	22.0	29.8	1.8	3.6
	県央地域	64	31.3	20.3	40.6	4.7	3.1
	川越比企地域	117	41.9	23.1	23.9	5.1	6.0
	西部地域	107	40.2	21.5	27.1	4.7	6.5
	利根地域	88	52.3	17.0	20.5	2.3	8.0
	北部地域	76	44.7	23.7	22.4	3.9	5.3
秩父地域	12	66.7	8.3	25.0	-	-	
□地域活動の場	全 体	1,012	35.4	19.6	30.4	9.4	5.2
	南部地域	98	32.7	20.4	33.7	5.1	8.2
	南西部地域	90	36.7	12.2	26.7	18.9	5.6
	東部地域	156	41.7	15.4	25.6	12.8	4.5
	さいたま地域	168	36.3	19.0	31.0	9.5	4.2
	県央地域	64	25.0	23.4	43.8	6.3	1.6
	川越比企地域	117	29.9	29.1	26.5	10.3	4.3
	西部地域	107	37.4	17.8	34.6	6.5	3.7
	利根地域	88	33.0	14.8	33.0	11.4	8.0
	北部地域	76	39.5	23.7	25.0	3.9	7.9
秩父地域	12	41.7	25.0	25.0	-	8.3	
□社会通念や風潮	全 体	1,012	14.4	45.9	27.5	6.8	5.3
	南部地域	98	14.3	49.0	20.4	8.2	8.2
	南西部地域	90	12.2	50.0	26.7	6.7	4.4
	東部地域	156	17.9	43.6	25.6	5.8	7.1
	さいたま地域	168	13.7	54.2	23.8	5.4	3.0
	県央地域	64	12.5	46.9	32.8	6.3	1.6
	川越比企地域	117	12.0	38.5	35.9	10.3	3.4
	西部地域	107	14.0	40.2	34.6	5.6	5.6
	利根地域	88	13.6	46.6	25.0	8.0	6.8
	北部地域	76	18.4	47.4	22.4	2.6	9.2
秩父地域	12	8.3	25.0	41.7	25.0	-	

※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない

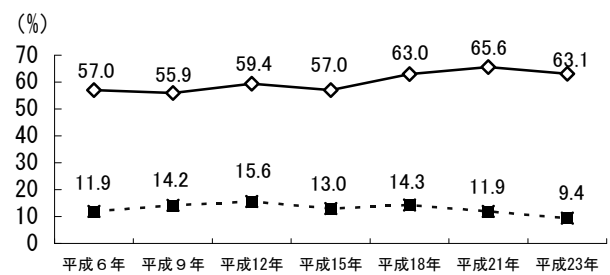
時系列（男性回答者）で比較すると、【家庭】は「平等になっている」が前回同様4割台となっており、「平等になっていない」は平成12年をピークに減少している。また、【教育】では「平等になっていない」が平成21年まで1割台で推移していたが、今回1割を割り込んだ。【職場】では「平等になっていない」が平成21年まで5割台と比較的高い割合で推移していたが、今回4割台へと減少した。【地域活動の場】では「平等になっていない」が平成21年まで2割台で推移していたが、今回1割台へと減少した。この他、【法律や制度】では「平等になっている」はここ数年上昇傾向がみられたが、今回やや減少となった。（図表1-10）

図表1-10 男女の地位の平等感（時系列比較）

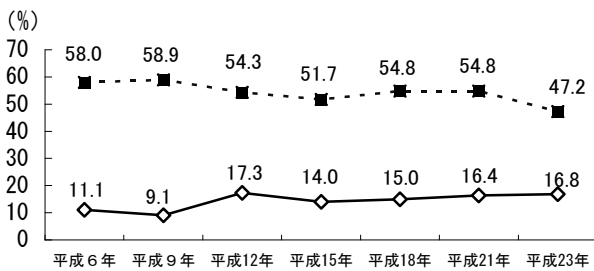
【家庭】



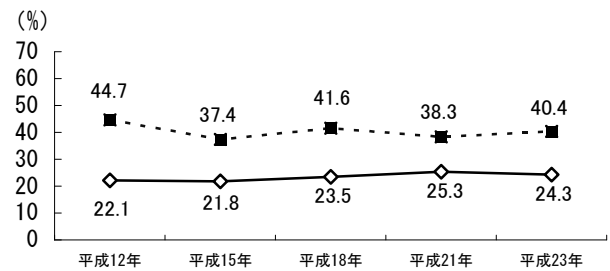
【教育】



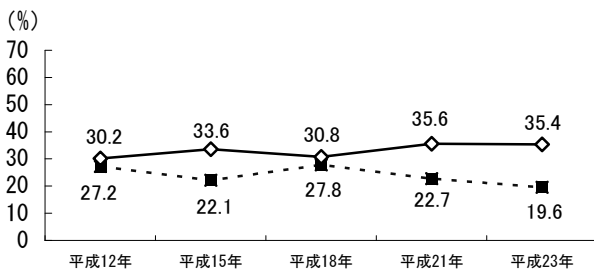
【職場】



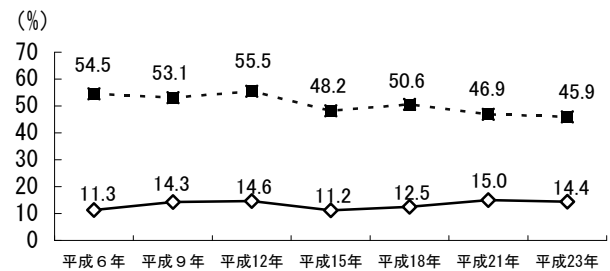
【政治】



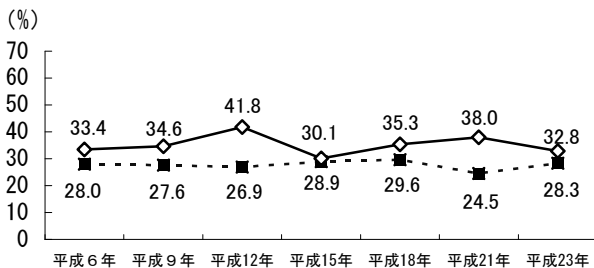
【地域活動の場】



【社会通念や風潮】



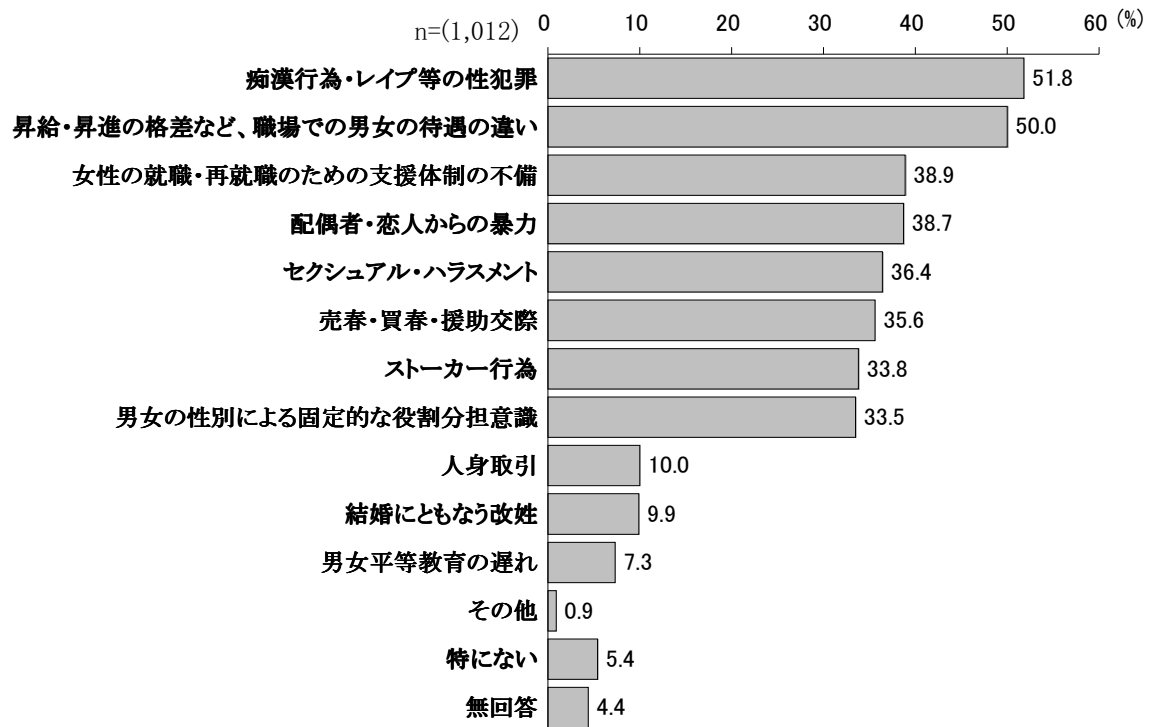
【法律や制度】



(2) 女性に関する人権問題として早期に解決すべきこと

問2 女性に関することで、人権問題として早期に解決すべきだと思われるものはどのようなことですか。(〇は5つまで)

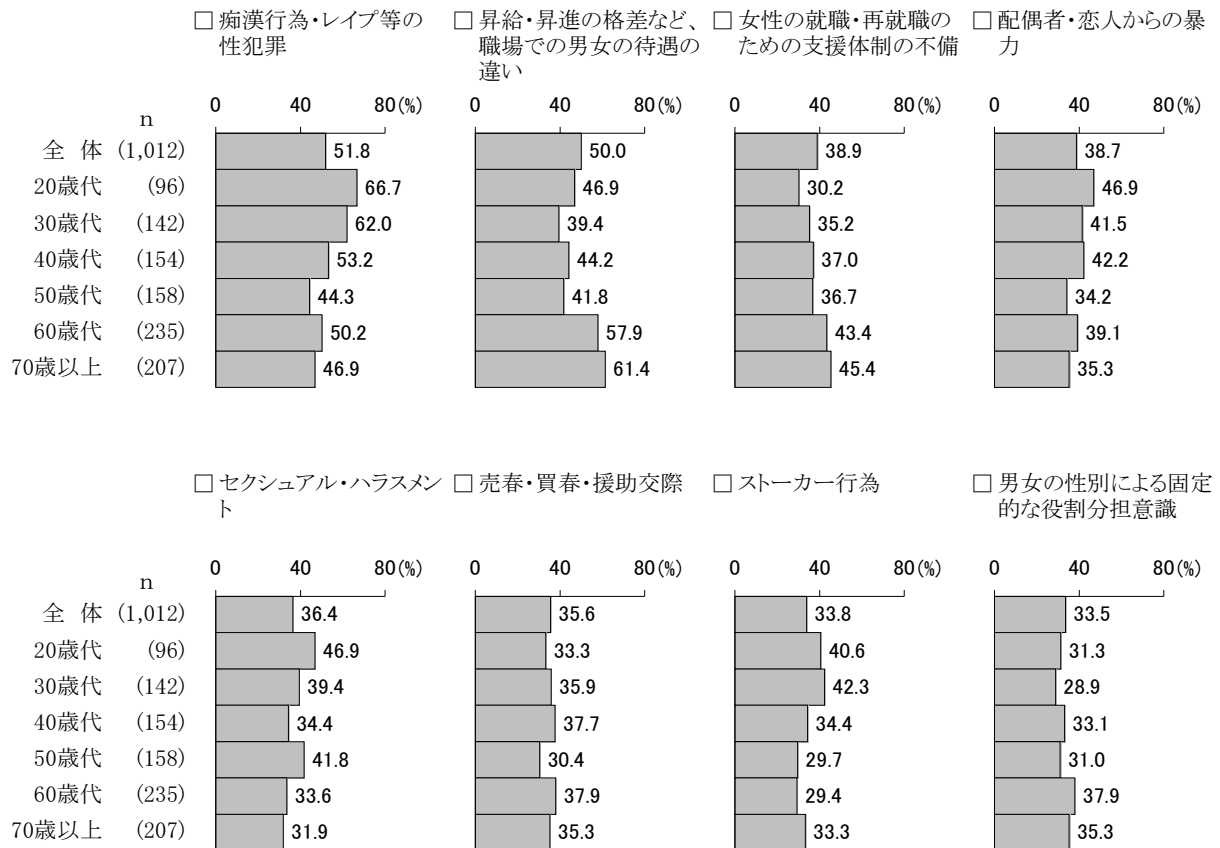
図表 1-11 女性に関する人権問題として早期に解決すべきこと (全体)



女性に関する人権問題として早期に解決すべきこととしては、「痴漢行為・レイプ等の性犯罪」(51.8%)と「昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い」(50.0%)の2項目が、いずれも5割台で、特に高くなっている。以下、「女性の就職・再就職のための支援体制の不備」(38.9%)、「配偶者・恋人からの暴力」(38.7%)の順で続いている。(図表 1-11)

年齢別でみると、20歳代、30歳代では「痴漢行為・レイプ等の性犯罪」が、66.7%、62.0%と、6割を超えて高くなっているほか、20歳代では「配偶者・恋人からの暴力」や「セクシュアル・ハラスメント」も46.9%と、他の年代に比べて高くなっている。一方、60歳代、70歳以上では「昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い」が、それぞれ57.9%、61.4%と、6割前後を占め、他の年代より高くなっている。(図表1-12)

図表1-12 女性に関する人権問題として早期に解決すべきこと（年齢別 上位8項目）



職業別でみると、パート・アルバイトでは「昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い」(60.9%)、「女性の就職・再就職のための支援体制の不備」(46.4%)が他の層より高くなっている。(図表1-13)

図表1-13 女性に関する人権問題として早期に解決すべきこと（職業別 上位4項目）

